前山コース
（前山・八方ヶ原線）

■行程　約2.5km　■所要時間　周回1時間

【最寄りのバス停】
●塩原温泉ビジターセンター
JRバス塩原本線「七ツ岩吊橋」下車徒歩7分（約300m）

コース概要

ビジターセンターを拠点に、ミニハイキングが楽しめる周回コースです。
大正天皇が、皇太子時代よく御散策されたといわれるビジターセンターがある前山を通り、塩の湯方面と八方ヶ原方面への分岐までのコースです。
入り口は、渓谷遊歩道やしおコースと同じです。前山の遊歩道分岐T字路を右折（前山八方ヶ原線歩道方面）します。
広葉樹の林をぬけると、浅緑色の岩の間を清らかに流れる鹿股川にかかる仙人岩吊橋があります。春にはトウゴクミツバツツジやシロヤシオなどが咲き、四季折々の渓谷美を楽しむことができます。
仙人岩吊橋から、鹿股川沿いを歩き少し登りつめると車道にでます。体力に自信のある方は、案内表示に従い、小太郎ヶ淵まで足を延ばしてみてはいかがでしょう。
歩道付の車道を歩き鹿股川に架かる３つの橋を渡りビジターセンターに戻ります。

みどころ

【前山国有林（旧塩原御料林）】
ビジターセンターがある場所はモミ・アカマツの巨木やコナラ・ミズナラの天然林（46ha）に囲まれており、その天然林は明治24年に内務省から宮内省に所管換えとなったもので、正式には「塩原第二御料地」と呼ばれていました。その後昭和22年、林野省林野局（現在の林野庁）に所管換えとなり、現在は、「塩原第二国有林」と呼ばれています。
現在、ビジターセンターとなっているあたりは、「御地の内（ごちのうち）」と言われており、御料林時代に設置された境界標の一部や三角点が現在も残置されており、往時を偲ぶことができます。

【仙人岩吊橋】
鹿股川に掛る全長30mの吊橋から、右岸上流前方に見える台座のような岩を「仙人岩」と言います。空を飛んでいた仙人が、温泉が湧き出ているのを見つけねぐらとした岩…塩原に残る伝説からその名が付けられました。

【鹿股川】
緑色凝灰岩（グリーンタフ）の間を清らかに流れ、川の中をのぞくとイワナやヤマメを見ることができます。また、春の新緑・秋の紅葉時期のカメラスポットとしても人気があります。

自然公園情報センター　塩原温泉ビジターセンター
〒329-2921　栃木県那須塩原市塩原前山国有林
TEL・FAX0287-32-3050

◆公園マナーを守り、きれいな自然を楽しみましょう。◆